

もくチャレ

第2回

国産木材 デザインコンテスト for 木育

ミライをつくろう

子どもたちが木を好きになる

賞

最優秀賞 30万円

優秀賞10万円／奨励賞3万円

展示

- ◆東京都開催予定の木材関係のイベント
- ◆東京都庁 ほか

表彰式

東京都開催予定の
木材関係のイベント

【応募資格】国内の大学院・大学・短期大学・専門学校・高等専門学校・高等学校
(中等教育学校の場合、後期課程)の在学学生(年齢・性別・国籍不問)

【必要技能】各種CAD・Adobe® Illustrator®での完成イメージパース・展開図の作成
Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、PhotoshopおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

締め切り

2024/ 8/23 (金)

詳細はこちら



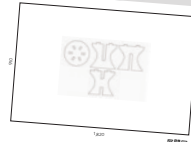
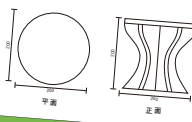
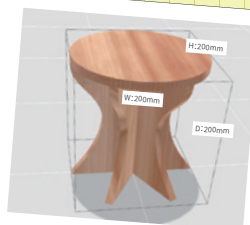
(例)
子どもが座りたくなるスツール

選んだ木材の厚み:25mm

木野 活美

(例) 紐で丈夫で安心

(例) 直径400mmの座面を木の板で支えることで安定感を確保。脚部は曲線のくねりを20mmの厚さに削ぎ落とし、握りやすさを確保しました。
仕上げ塗装はセラーナで、周囲の木材の色合いが自然に溶け込むようにエナメルペイント塗装は、握りやすさを確保するための塗装であるため、仕上げは必要ありません。



第2回もくチャレのテーマは『木育』

もくチャレは、東京都が運営する国産木材の魅力発信拠点
「MOCTION」主催の学生向けコンテストです。

子どもたちが、木とふれあい、木を学べる家具。
若い感性と思いやりをお待ちしています！



MOCTION

国産木材を活かす繋げる

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
リビングデザインセンターOZONE 5F

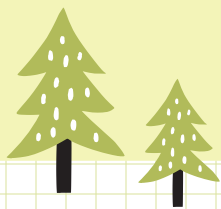
OPEN 10:30~18:30(休館日/祝日除く水曜日)

HP <https://motion.jp>



東京都

この活動は東京都が運営しています。
国産木材活用・オフィス木質化は、全国各地
と東京都が連携して行っています。



応募の流れ

STEP

1

一次審査・二次審査

サブクロ板(幅910×長1820×厚20mm or 25mm or 30mm)1枚でつくれる「木育する家具」を考案してください。CAD・Adobe Illustrator を使用して作成したイメージボード(PDF)での選考です。一次審査・二次審査を経て、6名が最終審査に進みます。

イメージボード制作例(レイアウトは自由)▶

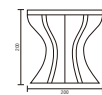
子どもが座りたくなるスツール

選んだ木材の厚み:25mm

木野 活美

(例) 軽くて丈夫で安心

(例) 直径400mmの座面も木の脚で支えることで軽単独と安定感を追求、脚部は曲線のくびれをつけて見た目と実際の強度を両立しました。
出っぱは座面は引っかくもので、座面を平材の高くもりが位わらうようにニスやワックス塗料は使わず自然表面の塗装剤でもニスで仕上げます。



EMARF とは？



EMARFは、VUILD株式会社が開発運営する木製品のデザインからパーツ加工するまでの工程をオンラインで完結できるクラウドサービスです。

STEP

2

EMARFでの木材切断・加工

最終審査に進出した6名の方にはMOCTIONより材料をご提供。オンラインプラットフォームEMARFを活用し、応募作品を実制作いただきます。愛知県産スギ集成材の材料費と、EMARFの利用費はMOCTIONが負担します。

入稿後は自動的にShopBotで木材を切断、加工していくので、加工技能や力に自信のない方でも参加できます。

STEP

3

作品組み立て・仕上げ

EMARFでのデータ入稿後、1週間程度でご自宅へ加工された自作品のパーツが届きます。パーツを組み立て、仕上げ、完成させてください。仕上げのやりかたは皆さん次第。塗装、ニス塗り、ヤスリ掛け、面取りがあげられます。完成品をMOCTIONまでお送りください(送料の費用負担なし)。



STEP

4

最終審査

お送りいただいた実作品による最終審査を経て各賞を決定します。入賞者は4名です。なお、データ入稿時のアドバイスを踏まえた実作品による最終審査になります。入賞者の作品は、2024年暮れに東京都開催予定の木材関係のイベントにて作品を展示し、表彰式を予定しています。



埼玉大学教授
木育・木づかいネット理事長
浅田 茂裕 氏



有限会社
一場木工所 代表取締役
一場 未帆 氏



家具デザイナー
小泉 誠 氏



東京おもちゃ美術館 館長
多田 千尋 氏

